

# 羽曳野市公共施設等総合管理計画及びアクションプランの改訂概要

「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の改訂について」（平成30年2月27日付総財務第28号総務省自治財政局財務長課長通知）などの内容に基づき、公共施設等のユニバーサルデザイン化の一層の推進を図るとともに、現在の本市の公共施設等の現状を踏まえ、計画の中間見直し（時点修正）を行いました。

## 羽曳野市公共施設等総合管理計画

本計画の実施方針に、「ユニバーサルデザイン化の推進方針」及び「総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築」などを追記しました

誰もが安全・安心に利用していただくため、公共施設等の改修・更新等を行う際には、利用者のニーズや施設の状況を踏まえ、ユニバーサルデザイン化を進めます。また、公共施設等の適正管理に必要な体制については、先進自治体における事例等も参考にしながら検討し、充実を図ります。

## 公共施設等の現況に係る各種数値の時点修正を行いました

時点修正を実施した結果、年間平均更新費用のシミュレーションは以下の通りとなりました。

施設分類	年間平均更新費用	
	平成27年度 (策定時点)	令和2年度 (改訂時点)
公共施設	24.8 億円	25.1 億円
道路	1.0 億円	1.5 億円
(小計)	25.8 億円	26.6 億円
上水道管、上水道施設	11.7 億円	12.0 億円
下水道管、下水道施設	7.2 億円	7.9 億円
(小計)	18.9 億円	19.9 億円
合計	44.7 億円	46.5 億円

令和2年度における公共施設等の年間平均更新費用が増加した背景には、計画策定から5年間の経過し、その間に大規模改修が必要な施設が増加したことがあります。

こうした内容を踏まえ、市民サービス水準と将来の財政負担の均衡を重視し、計画的な整備や維持管理により、引き続き、公共施設等の最適な配置を実現するよう努めてまいります。

## アクションプラン

## 公共施設（インフラ除く）に係る各種数値の時点修正を行いました

各施設の利用実績と修繕費について、平成29年度から令和元年度の3ヵ年分の実績に更新しました。